

この頁より合計 3 ページにご回答の上、2 頁で解説のウェブ回答、FAX 等にてご返送下さい。

平成 29 年衆議院議員選挙に際して
LGBT (性的指向・性自認) をめぐる課題に関する

平成 29 年 10 月
LGBT 法連合会

立候補 (予定) 者の氏名前 (森田 俊和) 所属政党 (希望の党)
(埼玉 12 区) 選挙区 ・ 比例区 (比例区)

連絡用お電話番号:

問 1 貴殿が今回の衆議院議員選挙に立候補される際の「個人の選挙公約」に、何らかの LGBT 支援・権利確保政策は既に含まれていますか? 将来はいかがでしょうか? (単独回答)

- 2. 様々な少数者の支援・権利確保を謳う中に含まれている
- 3. 将来入る可能性はある
- 4. 将来入る可能性はない
- 5. その他 (具体的に:)

問 2 個人としての、LGBT 当事者への接し方について、お伺いします。ご家族や友人から LGBT であることを、もし告白 (カミングアウト) されたら、あなたはどのようにお考えですか? (複数回答可)

- 1. その人を尊重し応援したいと思う
- 2. 距離をおきたいと思う
- 3. 差別や偏見がなくなるまで、同性愛者としてや、戸籍上の性別のままで生きるよう促す
- 5. その他 (具体的に:)

問9 LGBT支援政策の下記の①-⑦の課題各々に関して、法制度や行政がどのように対応すべきか、ご自身のお考えを選択肢1-5から選び、ご記入下さい。

	その他/ 1-4から選択肢を並べたうえでの補足 等 (自由回答)	わからない	適切な措置がとられていない	必要の措置がとられていない	必要の措置がとられている
① 性的指向・性自認、LGBT当事者の直面する課題について、広く社会教育・啓発を行う		4	3	1	
② 学校教育において、多様な性を学習する事を通じて、LGBTへのいじめ・差別を防止する		4	3	1	
③ 国・自治体のレベルで、LGBT(性的指向性自認に係る)の困難解消に向けた、基本計画を策定し進める		4	3	1	
④ 学校・職場における、LGBTへのいじめ・アズメットの防止体制を確立する		4	3	1	
⑤ 困難を抱くLGBTに対する、相談・支援の仕組みを、学校・職場等に拡げる		4	3	1	
⑥ LGBTに対する(性的指向・性自認に係る)、罰や不利益取扱いを及ぼし禁止する法律やルールを策定する		4	3	1	
⑦ 施設・職場・学校等にて、LGBTに配慮したサービスや施策の対応を推進する		4	3	1	

きるパートナーシップ制度が広まっています。同性をり他の多くの自治体で同性間婚制度に当てはまらないため困難に陥る例が多く、異性間と同様・同等に、法的認知・リポートを受けられるようにする法制化を望む声が高まっています。どのような対応が望ましいとお考えですか？（複数回答可）

1. 同性間でも男女と同じ婚姻制度を適用できるようにすべきだ
2. 現在の婚姻に加えて、別途同性間だけのためのパートナーシップ制度を設けるべきだ
3. 同性間でも利用できるパートナーシップ制度を設けるべきだ
4. 各自治体が、条例や首長のリーダーシップにて、同性間の関係を認知する宣誓・証明等を行う仕組みを広げていくべきだ（渋谷区、世田谷区、伊賀市、宝塚市、那覇市、札幌市等の例にならぬ）
5. こうした制度は異性間のものであるべきで特に必要ない
6. 答えられない／分からない
7. その他（具体的に：）

問5 貴殿が当選した場合は、様々な困難に直面するLGBT当事者を支援する為、ひとりの国会議員として、 自由記述欄にて、これまでの経験や専権を踏まえてお書きいただいても結構です。

(自由記述)

LGBT当事者の方々も含め、様々な特性、能力を持つ人々が、差別さずそれぞれが持つ味を生かして社会を豊かにしていくべきです。

* 質問は以上です。記入漏れがないか念のためご確認の上、ご返信下さい。ご多忙の中、ご協力いただき